

### 3. EVの充電インフラ設置箇所への調査

#### 3.1. 充電インフラ整備前向き検討箇所アンケート調査の実施

##### (1) 調査目的

平成 22 年度事業のアンケート調査において、調査に回答があり、かつ、充電インフラ整備を「前向きに検討している」と返答している企業・団体を対象に調査を行うことで、充電インフラ整備に前向きな企業・団体の意向を把握し、今後の充電インフラ整備における基礎資料とする。

##### (2) 調査方法 : 郵送

##### (3) 実施期間 : 平成 23 年 9 月 13 日～平成 23 年 9 月 30 日

##### (4) 調査対象者 : 一般企業 63 社、道の駅 30 箇所

##### (5) アンケートの種類について

アンケートの種類については、「今後、整備・開放の予定がある」・「整備・開放を検討している」と回答している非常に前向きな箇所と、「今後検討したい」・「条件付で検討したい」と回答している前向きな箇所によって、設問を変更している。

また、アンケートの対象となる企業と道の駅によっては、設問の方式が多少異なることから、本事業では 3 種類のアンケートを作成し、送付している。以下に、アンケートの配布箇所数を示す。

##### (6) アンケート配布箇所数

表 3.1.1 アンケート配布箇所数

対 象	非常に前向き検討箇所		前向き検討箇所	
	今後、整備・開放の 予定がある	整備・開放を 検討している	今後検討 したい	条件付で検討 したい
企 業	1	5	51	6
道の駅	0	0	19	11

なお、過年度調査時に「今後、整備・開放の予定がある」と回答した企業・団体のうち、本年度調査実施前に既に整備・開放済みとなっていた箇所については、本アンケートの対象から除外した。

次ページに、調査対象となった一般企業の構成について示す。

表 3.1.2 一般企業調査対象構成

対象エリア	業種	今後、整備・開放の予定がある	整備・開放を検討している	今後検討したい	条件付で検討したい
札幌市	商業施設	-	-	9	-
	コンビニ	-	-	1	-
	宿泊施設	-	-	4	-
	観光施設	-	-	2	1
	ガソリンスタンド	-	1	1	-
	飲食店	-	1	-	-
	駐車場	-	-	1	-
	自動車工場	1	-	2	-
	小計	1	2	20	1
江別市 (野幌地区)	飲食店	-	-	1	1
	小計	0	0	1	1
ニセコ町	コンビニ	-	1	1	-
	宿泊施設	-	1	14	4
	観光施設	-	-	3	-
	ガソリンスタンド	-	-	1	-
	自動車工場	-	-	2	-
	小計	0	2	21	4
稚内市	商業施設	-	-	1	-
	コンビニ	-	1	1	-
	宿泊施設	-	-	2	-
	ガソリンスタンド	-	-	3	-
	自動車工場	-	-	2	-
	小計	0	1	9	0
合計		1	5	51	6

(7) アンケート回収数

本事業における充電インフラ整備前向き検討箇所アンケート調査の返却数および返却率は以下の通りである。

表 3.1.3 アンケート返却数

対象	調査数	返却数	返却率
「今後予定がある」・「検討している」企業	6	4	67%
「今後検討したい」・「条件付で検討したい」企業	57	28	49%
「今後検討したい」・「条件付で検討したい」道の駅	30	11	37%
計	93	43	46%

### 3.1.1. アンケート調査内容

#### (1) 今後予定がある、検討中の企業アンケート（以後、企業アンケート①）

企業アンケート①の目的は、以下の通りである。各設問とその目的は、表 3.1.4 に示す。

- ・ 充電設備の整備に非常に前向きな箇所が抱える課題を把握し、充電設備の整備を促すための情報提供をする
- ・ 既存コンセントの常時開放が可能な箇所に、充電インフラマップへの登録を働きかける

表 3.1.4 設問の内容と目的（企業アンケート①）

設問	設問の目的
①EV 用充電設備の整備・開放の検討状況	先導的取組みとして充電設備の整備を検討している理由や導入段階における課題、今後の計画等の把握
②EV 用充電設備整備後の利用システムについて	充電設備整備後の利用システムの把握
③EV 用充電設備の普及に関する情報提供について	充電設備のユーザーおよび整備事業者に対し、どのような情報を提供したら良いかを把握
④既存コンセントの一般開放について	既存のコンセントの常時一般開放に関する意向や利用システムの把握

#### (2) 検討したい、条件付で検討したい企業（以後、企業アンケート②）

企業アンケート②の目的は、以下の通りである。各設問とその目的は、表 3.1.5 に示す。

- ・ 充電設備の整備を検討するための条件について整理する
- ・ 既存コンセントの常時開放が可能な箇所に、充電インフラマップへの登録を働きかける

表 3.1.5 設問の内容と目的（企業アンケート②）

設問	設問の目的
①EV 用充電設備の整備を検討する際の条件について	どのような条件がクリアされれば、充電設備の整備を検討するかを把握
②EV 用充電設備整備後の利用システムについて	充電設備整備後の利用システムの意向の把握
③EV 用充電設備の普及に関する情報提供について	充電設備のユーザーおよび整備事業者に対し、どのような情報を提供したら良いかを把握
④既存コンセントの一般開放について	既存のコンセントの常時一般開放に関する意向や利用システムの把握

(3) 検討したい、条件付で検討したい道の駅（以後、道の駅アンケート）

道の駅アンケートの目的は、以下の通りである。各設問とその目的は、表 3.1.6 に示す。

- ・ 充電設備の整備を検討するための条件について整理する
- ・ 既存コンセントの常時開放が可能な箇所に、充電インフラマップへの登録を働きかける

表 3.1.6 設問の内容と目的（道の駅アンケート）

設問	設問の目的
①EV 用充電設備の整備を検討する際の条件について	どのような条件がクリアされれば、充電設備の整備を検討するかを把握
②EV 用充電設備整備後の利用システムについて	充電設備整備後の利用システムの意向の把握
③EV 用充電設備の普及に関する情報提供について	充電設備のユーザーおよび整備事業者に対し、どのような情報を提供したら良いかを把握
④既存コンセントの一般開放について	既存のコンセントの常時一般開放に関する意向や利用システムの把握

## EV(電気自動車)に関するアンケート調査にご協力をお願いします

この度、北海道経済部産業振興局 環境・エネルギー室では、昨年度に実施した「EV・PHVに関するアンケート調査」にて、「充電設備の整備を予定している」または「充電設備の整備を検討している」と回答していただいた企業・団体を対象に、充電設備の整備および既存コンセントの一般開放に関するアンケート調査を実施しております。この調査は、貴事業所等のEVの充電設備の整備・開放に関する計画や既存コンセントを一般に開放する際の課題などをお聞きし、今後のEV充電インフラ整備へ向けた基礎資料とすることを目的としております。

お忙しいところご面倒をおかけしますが、本調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、このアンケートは、緊急雇用創出推進事業による電気自動車（EV）普及啓発事業受注コンソーシアム（幹事企業：社団法人北海道開発技術センター）が、北海道より「緊急雇用創出推進事業による電気自動車（EV）普及啓発事業」を受託し実施しております。

### 【実施主体】

北海道経済部産業振興局 環境・エネルギー室

## 《 回答方法および提出方法 》

### ◎ 回答方法

回答方法は、①レ印をつけるもの ②番号・数字を記入するもの ③自由に記入するものがあります。それぞれの質問文にしたがって回答してください。

### ◎ 提出方法

記入後は、恐れ入りますが同封の返信用封筒に入れ、9月30日までに返送してください。

※ データは統計的に処理し、調査事業のみに使用いたします。他の目的には一切使用いたしません。

### < 充電設備の基本情報 >

充電設備の種類	普通充電			急速充電
	コンセント		ポール型普通充電器	
	100V	200V	200V	
				
想定される充電場所(例)	プライベート パブリック	戸建住宅・マンション、ビル、屋外駐車場等 カーディーラー、コンビニ、病院、商業施設、時間貸し駐車場等	マンション、ビル、屋外駐車場	— (ごく限定的)
充電時間	航続距離160km	約14時間	約7時間	約30分
	航続距離80km	約8時間	約4時間	約15分
充電設備本体価格例 (工事費は含まない)	数千円		数十万円	百万円以上

※「電気自動車・プラグインハイブリッド自動車のための充電設備整備にあたってのガイドブック（2010年12月 経済産業省、国土交通省）」より抜粋

図 3.1.1 企業アンケート①のアンケート票①

質問1 充電設備についてお伺いします。	
I EV用充電設備の整備・開放の検討状況等についてお伺いします。	
EVを取り巻く環境が一変しましたので、改めてお伺いします。 貴事業所等において、今後、EV用充電設備（充電用コンセント、ポール型普通充電設備、急速充電設備）を整備し、課金を含めて一般に開放することについてどのようにお考えですか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけ、【 】内のあてはまる充電設備の種類に印をつけてください。	
①	<input type="checkbox"/> 既に整備しており開放している 【 <input type="checkbox"/> 充電用コンセント <input type="checkbox"/> ポール型普通充電設備 <input type="checkbox"/> 急速充電設備】 <input type="checkbox"/> 今後、整備・開放の予定がある 【 <input type="checkbox"/> 充電用コンセント <input type="checkbox"/> ポール型普通充電設備 <input type="checkbox"/> 急速充電設備】 <input type="checkbox"/> 整備・開放を検討している 【 <input type="checkbox"/> 充電用コンセント <input type="checkbox"/> ポール型普通充電設備 <input type="checkbox"/> 急速充電設備】 <input type="checkbox"/> 整備を予定・検討していたが、整備しないことになった
②	貴事業所等において、充電設備を整備し、課金を含めて一般に開放する とした場合、いつごろに整備・開放 する予定ですか。次のうち、あては まるもの1つに印をつけてください。 <択一回答> <input type="checkbox"/> 半年以内 <input type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 2年以内 <input type="checkbox"/> 3年以内 <input type="checkbox"/> 3年以上 <input type="checkbox"/> 未定
③	EV普及の導入段階において、先導 的な取組みとして充電設備の整備 を検討するに至った理由をお教え ください。次のうち、あてはまるも の全てに印をつけてください。 <複数回答> <input type="checkbox"/> EV普及のために先導的取組みが重要だから <input type="checkbox"/> 充電設備を利用した新たなビジネスのため <input type="checkbox"/> 充電待ち時間を利用したビジネスチャンスの創出 <input type="checkbox"/> その他（_____）
④	貴事業所等において、どのような課 題を解消することが出来れば、実際 に整備・開放することが出来ます か。次のうち、あてはまるもの全て に印をつけてください。 <複数回答> <input type="checkbox"/> 充電設備本体の購入費の捻出 <input type="checkbox"/> 充電設備の整備に関わる工事費の捻出（配電設備の工事費含む） <input type="checkbox"/> EVの普及率（道内における自動車普及率の_____％程度） <input type="checkbox"/> 課金システムの構築 <input type="checkbox"/> 防犯面・安全面の対策 <input type="checkbox"/> 防雪・除雪の対策 <input type="checkbox"/> その他（_____）
⑤	貴事業所等において、充電設備の整 備・開放を検討する上で、当初想定 していなかったことについて教え てください。 <自由回答> （例：充電設備本体の価格より、キュービクル（変電設備）の工事費が高い。 電力会社と調整をする際の制度や仕組みが不十分。など）
II EV用充電設備整備後の利用システムなどについてお伺いします。	
①	貴事業所等において、充電設備を一 般に開放する際の利用システムに ついて、どのようにお考えですか。 次のうち、あてはまるもの1つに 印をつけてください。<択一回答> <input type="checkbox"/> 自由に利用してもらう <input type="checkbox"/> 担当窓口にて受付し、利用してもらう <input type="checkbox"/> 会員証等による認証を行い、利用してもらう <input type="checkbox"/> その他（_____）
②	貴事業所等において、充電設備を一 般に開放する際の課金制度につい て、どのようにお考えですか。次の うち、あてはまるもの1つに印を つけてください。<択一回答> <input type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 充電時間の長さによる課金（_____分 _____円） <input type="checkbox"/> 充電1回あたり、定額の課金（1回 _____円） <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他（_____）
③	貴事業所等において、充電設備の利 用者として、どのような方をターゲ ットにしたいとお考えですか。 <自由回答> （例：不特定多数、スーパーでの買い物客、観光客、宿泊者など）
④	貴事業所等における、EV事業に関 する戦略や今後の計画について教 えてください。<自由回答> （例：初めは無料とするが、今後EVが普及すれば課金する。今後、支店・系列店にも 充電設備を整備する。事業所等にて一定額以上の購入者は無料とする。など）

図 3.1.2 企業アンケート①のアンケート票②

⑤	貴事業所等において、充電設備を整備するために、どのような情報が欲しいと思いますか。次のうち、あてはまるもの全てに印をつけてください。＜複数回答＞	<input type="checkbox"/> 充電設備本体の性能に関する情報 <input type="checkbox"/> 充電設備の整備に関する法令・条例、支援制度（補助金など） <input type="checkbox"/> 実際の充電設備整備コスト <input type="checkbox"/> 実際の充電設備の利用者数 <input type="checkbox"/> 他事例の利用システム（料金設定、開放時間など） <input type="checkbox"/> その他（_____）
⑥	利用者に充電設備を有効に利用してもらうためには、どのような情報を提供したら良いと思いますか。次のうち、あてはまるもの全てに印をつけてください。＜複数回答＞	<input type="checkbox"/> WEB サイト上での充電設備整備箇所のマップ <input type="checkbox"/> WEB サイト上での充電設備空き状況の情報 <input type="checkbox"/> Eメール等での充電終了告知 <input type="checkbox"/> その他（_____）
<b>Ⅲ 既存のコンセントの一般開放についてお伺いします。</b>		
①	貴事業所等が有する既存のコンセントについて、要請があれば一般に常時開放することは可能ですか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。＜択一回答＞ ※コンセントは、100V、200Vともに、アース付の形状で、駐車可能な場所から概ね10m以内にあることが条件となります。	 AC200V (丸型)    AC200V (平型)    AC100V 使用可能なコンセントの種類
	<input type="checkbox"/> 常時開放可能 <input type="checkbox"/> 常時開放は難しい（コンセントあり） <input type="checkbox"/> 常時開放は難しい（コンセントなし） <input type="checkbox"/> わからない	
②	貴事業所等において、既存のコンセントを一般に開放する際の課金制度について、どのようにお考えですか。あてはまるもの1つに印をつけてください。＜択一回答＞	<input type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 充電時間の長さによる課金（_____分 _____円） <input type="checkbox"/> 充電1回あたり、定額の課金（1回 _____円） <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> その他（_____）
③	（①にて協力可能と回答された方のみお答えください。） 貴事業所等において、既存のコンセントを一般開放する場合、開放可能な時間帯を教えてください。	<input type="checkbox"/> 24時間開放可能 <input type="checkbox"/> 土日祝日を含む <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時まで開放可能 <input type="checkbox"/> 平日のみ <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時まで開放可能 <input type="checkbox"/> わからない
<b>質問2 貴事業所のことについてお伺いします。</b>		
①	会社名・団体名	
②	支店・営業所名	
③	回答者所属・役職・氏名	
④	連絡先	TEL : ( _____ ) _____ FAX : ( _____ ) _____ Email : _____
その他、EV普及や充電設備についてご意見・ご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。		
アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様からいただきました貴重なご意見は、今後のEV充電設備の整備施策に活用させていただきます。		
【実施機関・送付先】 電気自動車（EV）普及啓発事業受注コンソーシアム （株）構研エンジニアリング 道路部 TEL 011-780-2814 担当：安達、小島、木村		
【調査企画】 北海道経済部産業振興局 環境・エネルギー室 TEL 011-231-4111 担当：高殿		

図 3.1.3 企業アンケート①のアンケート票③

## EV(電気自動車)に関するアンケート調査にご協力をお願いします

この度、北海道経済部産業振興局 環境・エネルギー室では、昨年度に実施した「EV・PHVに関するアンケート調査」にて、充電設備の整備を「今後検討したい」または「条件付で検討したい」と回答していただいた企業・団体を対象に、充電設備の整備および既存コンセントの一般開放に関するアンケート調査を実施しております。この調査は、貴事業所等のEVの充電設備の整備・開放に関する意向や既存コンセントを一般に開放する際の課題などをお聞きし、今後のEV充電インフラ整備へ向けた基礎資料とすることを目的としております。

お忙しいところご面倒をおかけしますが、本調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、このアンケートは、緊急雇用創出推進事業による電気自動車（EV）普及啓発事業受注コンソーシアム（幹事企業：社団法人北海道開発技術センター）が、北海道より「緊急雇用創出推進事業による電気自動車（EV）普及啓発事業」を受託し実施しております。

### 【実施主体】

北海道経済部産業振興局 環境・エネルギー室

## 《 回答方法および提出方法 》

### ◎ 回答方法

回答方法は、①レ印をつけるもの ②番号・数字を記入するもの ③自由に記入するものがあります。それぞれの質問文にしたがって回答してください。

### ◎ 提出方法

記入後は、恐れ入りますが同封の返信用封筒に入れ、9月30日までに返送してください。

※ データは統計的に処理し、調査事業のみに使用いたします。他の目的には一切使用いたしません。

### < 充電設備の基本情報 >

充電設備の種類	普通充電			急速充電
	コンセント		ポール型 普通充電器	
	100V	200V	200V	
				
想定される充電場所(例)	プライベート 戸建住宅・マンション、ビル、屋外駐車場等	マンション、ビル、屋外駐車場	— (ごく限定的)	道の駅、ガソリンスタンド、高速道路SA、カーディーラー、商業施設等
充電時間	航続距離 160km	約14時間	約7時間	約30分
	航続距離 80km	約8時間	約4時間	約15分
充電設備本体価格例 (工事費は含まない)	数千円		数十万円	百万円以上

※ 「電気自動車・プラグインハイブリッド自動車のための充電設備整備にあたってのガイドブック（2010年12月 経済産業省、国土交通省）」より抜粋

図 3.1.4 企業アンケート②のアンケート票①

質問 1 充電設備についてお伺いします。	
I EV用充電設備の整備を検討する際の条件についてお伺いします。	
① 貴事業所等において、北海道でどのくらいEVが普及したら、充電設備の整備を検討しようと思いますか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。 ＜択一回答＞	<input type="checkbox"/> EVの普及率が北海道内の自動車普及率の( )%程度 <input type="checkbox"/> EVの普及率は重視していない <input type="checkbox"/> その他( )
② 貴事業所等において、充電設備を整備した場合にどのくらいの利用が見込めれば、充電設備の整備を検討しようと思いますか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。＜択一回答＞	<input type="checkbox"/> EVの利用台数が月間で( )台程度 <input type="checkbox"/> EVの利用見込みは重視していない <input type="checkbox"/> その他( )
③ 貴事業所等において、充電設備の利用料で月間いくらかの利益が期待出来れば、整備を検討しようと思いますか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。＜択一回答＞	<input type="checkbox"/> 月間( )円程度の利益が期待できる <input type="checkbox"/> EV充電設備の維持費がまかなえる程度 <input type="checkbox"/> 社会貢献を主目的としているため、利益は考慮していない <input type="checkbox"/> その他( )
④ 貴事業所等において、充電設備を整備したことにより、どのようなメリットがあれば、整備を検討しようと思いますか。次のうち、あてはまるもの全てに印をつけてください。＜複数回答＞	<input type="checkbox"/> EV充電設備を広告とした集客効果 <input type="checkbox"/> EV充電設備の整備による企業イメージの向上 <input type="checkbox"/> 充電時間を活用し、事業所等の売上げ向上 <input type="checkbox"/> 充電時間を活用した新たなビジネスチャンスの創出 <input type="checkbox"/> 蓄電池制御による電力のピーク需要カット <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> その他( )
⑤ 貴事業所等において、充電設備の整備費用のうち、いくらかの補助金があれば、整備を検討しようと思いますか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。＜択一回答＞	<input type="checkbox"/> 充電設備整備費の全額 <input type="checkbox"/> 充電設備整備費の2/3程度 <input type="checkbox"/> 充電設備整備費の1/2程度 <input type="checkbox"/> 充電設備整備費の1/3程度 <input type="checkbox"/> その他( )
II EV用充電設備の利用システムなどについてお伺いします。	
① 貴事業所等において、充電設備を一般に開放するとした場合、どのような利用システムにすると良いとお考えですか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。＜択一回答＞	<input type="checkbox"/> 自由に利用してもらう <input type="checkbox"/> 担当窓口にて受付し、利用してもらう <input type="checkbox"/> 会員証等による認証を行い、利用してもらう <input type="checkbox"/> その他( )
② 貴事業所等において、充電設備を一般に開放するとした場合、どのような課金制度にすると良いとお考えですか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。＜択一回答＞	<input type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 充電時間の長さによる課金 <input type="checkbox"/> 充電1回あたり、定額の課金 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他( )
III EV用充電設備の普及に関する情報提供についてお伺いします。	
① 貴事業所等において、充電設備を整備するために、どのような情報が欲しいと思いますか。次のうち、あてはまるもの全てに印をつけてください。＜複数回答＞	<input type="checkbox"/> 充電設備本体の性能に関わる情報 <input type="checkbox"/> 充電設備整備に関わる法令・条例、支援制度(補助金など) <input type="checkbox"/> 実際の充電設備整備コスト <input type="checkbox"/> 実際の充電設備の利用者数 <input type="checkbox"/> 他事例の利用システム(料金設定、開放時間など) <input type="checkbox"/> その他( )
② 利用者に充電設備を有効に利用してもらうためには、どのような情報を提供したら良いと思いますか。次のうち、あてはまるもの全てに印をつけてください。＜複数回答＞	<input type="checkbox"/> WEBサイト上での充電設備整備箇所のマップ <input type="checkbox"/> WEBサイト上での充電設備空き状況の情報 <input type="checkbox"/> Eメール等での充電終了告知 <input type="checkbox"/> その他( )

図 3.1.5 企業アンケート②のアンケート票②

Ⅳ 既存のコンセントの一般開放についてお伺いします。	
<p>① 貴事業所等有する既存のコンセントについて、要請があれば一般に常時開放することは可能ですか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。〈択一回答〉</p> <p>※コンセントは、100V、200Vともに、アース付の形状で、駐車可能な場所から概ね10m以内にあることが条件となります。</p> <p><input type="checkbox"/> 常時開放可能  <input type="checkbox"/> 常時開放は難しい（コンセントあり）  <input type="checkbox"/> 常時開放は難しい（コンセントなし）  <input type="checkbox"/> わからない</p>	 <p>AC200V (丸型)   AC200V (平型)   AC100V</p> <p>使用可能なコンセントの種類</p>
<p>② 貴事業所等において、既存のコンセントを一般に開放する際の課金制度について、どのようにお考えですか。あてはまるもの1つに印をつけてください。〈択一回答〉</p> <p><input type="checkbox"/> 無料  <input type="checkbox"/> 充電時間の長さによる課金（ ____分 ____円）  <input type="checkbox"/> 充電1回あたり、定額の課金（1回 ____円）  <input type="checkbox"/> わからない  <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）</p>	
<p>③ （①にて協力可能と回答された方のみお答えください。）  貴事業所等において、既存のコンセントを一般開放する場合、開放可能な時間帯を教えてください。</p>	<p><input type="checkbox"/> 24時間開放可能  <input type="checkbox"/> 土日祝日を含む <input type="text"/> 時～<input type="text"/> 時まで開放可能  <input type="checkbox"/> 平日のみ <input type="text"/> 時～<input type="text"/> 時まで開放可能  <input type="checkbox"/> わからない</p>
質問2 貴事業所のことについてお伺いします。	
① 会社名・団体名	
② 支店・営業所名	
③ 回答者所属・役職・氏名	
④ 連絡先	TEL : (      )      - FAX : (      )      - Email :
<p>その他、EV普及や充電設備についてご意見・ご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>	
<p>アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様からいただきました貴重なご意見は、今後のEV・PHVの普及施策に活用させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【実施機関・送付先】  電気自動車（EV）普及啓発事業受注コンソーシアム  （株）構研エンジニアリング 道路部  TEL 011-780-2814 担当：安達、小畠、木村</p> <p style="text-align: right;">【調査企画】  北海道経済部産業振興局 環境・エネルギー室  TEL 011-231-4111 担当：高殿</p>	

図 3.1.6 企業アンケート②のアンケート票③

## EV(電気自動車)に関するアンケート調査にご協力をお願いします

この度、北海道経済部産業振興局 環境・エネルギー室では、昨年度に実施した「EV・PHVに関するアンケート調査」にて、充電設備の整備を「今後検討したい」または「条件付で検討したい」と回答していただいた企業・団体を対象に、充電設備の整備および既存コンセントの一般開放に関するアンケート調査を実施しております。この調査は、貴施設のEVの充電設備の整備・開放に関する意向や既存コンセントを一般に開放する際の課題などをお聞きし、今後のEV充電インフラ整備へ向けた基礎資料とすることを目的としております。

お忙しいところご面倒をおかけしますが、本調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、このアンケートは、緊急雇用創出推進事業による電気自動車（EV）普及啓発事業受注コンソーシアム（幹事企業：社団法人北海道開発技術センター）が、北海道より「緊急雇用創出推進事業による電気自動車（EV）普及啓発事業」を受託し実施しております。

### 【実施主体】

北海道経済部産業振興局 環境・エネルギー室

## 《 回答方法および提出方法 》

### ◎ 回答方法

回答方法は、①レ印をつけるもの ②番号・数字を記入するもの ③自由に記入するものがあります。それぞれの質問文にしたがって回答してください。

### ◎ 提出方法

記入後は、恐れ入りますが同封の返信用封筒に入れ、9月30日までに返送してください。

※ データは統計的に処理し、調査事業のみに使用いたします。他の目的には一切使用いたしません。

### < 充電設備の基本情報 >

充電設備の種類	普通充電			急速充電
	コンセント		ポール型 普通充電器	
	100V	200V	200V	
想定される充電場所(例)	プライベート 戸建住宅・マンション・ビル、屋外駐車場等	マンション・ビル、 屋外駐車場	道庁、コンビニ、 商業施設、時間貸し駐車場等	道の駅、ガソリンスタンド、高速道路SA、カーディーラー、商業施設等
充電時間	航続距離 160km	約140時間	約7時間	約30分
	航続距離 80km	約80時間	約40時間	約15分
充電設備本体価格例 (工事費は含まない)	数千円		数十万円	百万円以上

※ 「電気自動車・プラグインハイブリッド自動車のための充電設備整備にあたってのガイドブック（2010年12月 経済産業省、国土交通省）」より抜粋

図 3.1.7 道の駅アンケートのアンケート票①

質問1 充電設備についてお伺いします。	
I EV用充電設備の整備を検討する際の条件についてお伺いします。	
① 貴施設において、北海道でどのくらいEVが普及したら、充電設備の整備を検討しようと思えますか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。<択一回答>	<input type="checkbox"/> EVの普及率が北海道内の自動車普及率の( )%程度 <input type="checkbox"/> EVの普及率は重視していない <input type="checkbox"/> その他( )
② 貴施設において、充電設備を整備した場合にどのくらいの利用が見込めれば、充電設備の整備を検討しようと思えますか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。<択一回答>	<input type="checkbox"/> EVの利用台数が月間で( )台程度 <input type="checkbox"/> EVの利用見込みは重視していない <input type="checkbox"/> その他( )
③ 貴施設において、充電設備の利用料で月間いくらかの利益が期待出来れば、整備を検討しようと思えますか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。<択一回答>	<input type="checkbox"/> 月間( )円程度の利益が期待できる <input type="checkbox"/> EV充電設備の維持費がまかなえる程度 <input type="checkbox"/> 社会貢献を主目的としているため、利益は考慮しない <input type="checkbox"/> その他( )
④ 貴施設において、充電設備を整備したことにより、どのようなメリットがあれば、整備を検討しようと思えますか。次のうち、あてはまるもの全てに印をつけてください。<複数回答>	<input type="checkbox"/> EV充電設備を広告とした集客効果 <input type="checkbox"/> 充電時間を活用し、事業所等の売上げ向上 <input type="checkbox"/> 充電時間を活用した新たなビジネスチャンスの創出 <input type="checkbox"/> 蓄電池制御による電力のピーク需要カット <input type="checkbox"/> その他( )
⑤ 貴施設において、充電設備の整備費用のうち、いくらかの補助金があれば、整備を検討しようと思えますか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。<択一回答>	<input type="checkbox"/> 充電設備整備費の全額 <input type="checkbox"/> 充電設備整備費の2/3程度 <input type="checkbox"/> 充電設備整備費の1/2程度 <input type="checkbox"/> 充電設備整備費の1/3程度 <input type="checkbox"/> その他( )
II EV用充電設備の利用システムなどについてお伺いします。	
① 貴施設において、充電設備を一般に開放するとした場合、どのような利用システムが良いとお考えですか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。<択一回答>	<input type="checkbox"/> 自由に利用してもらう <input type="checkbox"/> 道の駅事務所等に受付し、利用してもらう <input type="checkbox"/> 会員証等による認証を行い、利用してもらう <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> その他( )
② 貴施設において、充電設備を一般に開放するとした場合、どのような料金体系が良いとお考えですか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。<択一回答>	<input type="checkbox"/> 全ての利用者に対し、無料とする <input type="checkbox"/> 当該地区の市区町村民は無料とし、外部の利用者は課金する <input type="checkbox"/> 全ての利用者に対し、課金をする <input type="checkbox"/> わからない
③ (①にて課金すると回答された方のみお答えください。) どのような課金制度が良いとお考えですか。次のうち、あてはまるもの1つに印をつけてください。<択一回答>	<input type="checkbox"/> 充電時間の長さによる課金 <input type="checkbox"/> 充電1回あたり、定額の課金 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他( )
III EV用充電設備の利用システムなどについてお伺いします。	
① 貴施設に充電設備の整備するためには、どのような情報が欲しいと思えますか。次のうち、あてはまるもの全てに印をつけてください。<複数回答>	<input type="checkbox"/> 充電設備本体の性能に関わる情報 <input type="checkbox"/> 充電設備の整備に関わる法令・条例、支援制度(補助金など) <input type="checkbox"/> 実際の充電設備整備コスト <input type="checkbox"/> 実際の充電設備の利用者数 <input type="checkbox"/> 他事例の利用システム(料金設定、開放時間など) <input type="checkbox"/> その他( )
② 利用者に充電設備を有効に利用してもらうためには、どのような情報を提供したら良いと思えますか。次のうち、あてはまるもの全てに印をつけてください。<複数回答>	<input type="checkbox"/> WEBサイト上での充電設備整備箇所のマップ <input type="checkbox"/> WEBサイト上での充電設備空き状況の情報 <input type="checkbox"/> Eメール等での充電終了告知 <input type="checkbox"/> その他( )

図 3.1.8 道の駅アンケートのアンケート票②

Ⅳ 既存のコンセントの一般開放についてお伺いします。	
<p>① 貴施設が有する既存のコンセントについて、要請があれば一般に常時開放することは可能ですか。次のうち、あてはまるもの 1 つに印をつけてください。〈択一回答〉</p> <p>※コンセントは、100V、200V とともに、アース付の形状で、駐車可能な場所から概ね 10m以内にあることが条件となります。</p> <p><input type="checkbox"/> 常時開放可能  <input type="checkbox"/> 常時開放は難しい（コンセントあり）  <input type="checkbox"/> 常時開放は難しい（コンセントなし）  <input type="checkbox"/> わからない</p>	 <p>AC200V (丸型)    AC200V (平型)    AC100V</p> <p>使用可能なコンセントの種類</p>
<p>② 貴施設において、既存のコンセントを一般に開放する際の課金制度について、どのようにお考えですか。あてはまるもの 1 つに印をつけてください。〈択一回答〉</p> <p><input type="checkbox"/> 無料  <input type="checkbox"/> 充電時間の長さによる課金（ ____分 ____円）  <input type="checkbox"/> 充電 1 回あたり、定額の課金（ 1回 ____円）  <input type="checkbox"/> わからない  <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）</p>	
<p>③ (①にて協力可能と回答された方のみお答えください。)</p> <p>貴施設において、既存のコンセントを一般開放する場合、開放可能な時間帯を教えてください。あてはまるもの 1 つに印をつけてください。〈択一回答〉</p> <p><input type="checkbox"/> 24 時間開放可能  <input type="checkbox"/> 土日祝日を含む ____時～ ____時まで開放可能  <input type="checkbox"/> 平日のみ ____時～ ____時まで開放可能  <input type="checkbox"/> わからない</p>	
質問 2 貴施設のことについてお伺いします。	
① 施設名	
② 回答者所属・役職・氏名	
③ 連絡先	TEL : (        )        - FAX : (        )        - Email :
<p>その他、EV普及や充電設備についてご意見・ご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	
<p>アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様からいただきました貴重なご意見は、今後のEV・PHVの普及施策に活用させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【実施機関・送付先】          電気自動車（EV）普及啓発事業受注コンソーシアム          （株）構研エンジニアリング 道路部          TEL 011-780-2814 担当：安達、小島、木村          【調査企画】          北海道経済部産業振興局 環境・エネルギー室          TEL 011-231-4111 担当：高殿</p>	

図 3.1.9 道の駅アンケートのアンケート票

### 3.1.2. アンケート調査結果

#### (1) 企業アンケート①

企業アンケート①については、サンプル数が少ないため、統計処理を行わない。よって、特筆すべき内容のみを抽出して記述する。

##### 《EV 充電設備の整備計画について》

- ・過年度調査時から EV を取り巻く環境が一変したが、現在でも「今後整備を予定している」・「検討している」と回答している
- ・ただし、整備予定時期については、最短で 2 年以内と回答しており、具体的な整備計画の検討には至っていないと想定される

##### 《先導的取組みとして検討している理由》

- ・全箇所において、「待ち時間を利用したビジネスチャンスの創出」と回答しており、充電器利用料によるビジネスは考えられていない

##### 《どのような課題が解消されれば実際に整備できるか》

- ・急速充電器整備検討箇所は、整備コストを課題として挙げている
- ・ポール式充電器整備検討箇所では、防犯面・安全面が解消されれば整備できるとの回答しており、積極的な情報提供が望まれる

##### 《検討している段階で、当初想定していなかったこと》

- ・この項目に関しては、回答を得られなかった（具体的な検討に至っていないためと想定される）

##### 《整備を検討するためにどのような情報が欲しいか》

- ・急速充電器整備検討箇所は、整備コストに関する情報を希望している
- ・先進事業例等の情報に関する要望はあまり高くない

## (2) 企業アンケート②、道の駅アンケート

### ① EV 充電設備の整備を検討する際の条件

《質問》北海道で EV がどのくらい普及したら充電設備の整備を検討しますか？

- ・企業②では、約 1 割が「10%以下」、約 2 割が「11～30%」と回答している。
- ・企業②では、約 2 割が「重視していない」と回答している。
- ・道の駅では、約 6 割が「重視していない」と回答している。

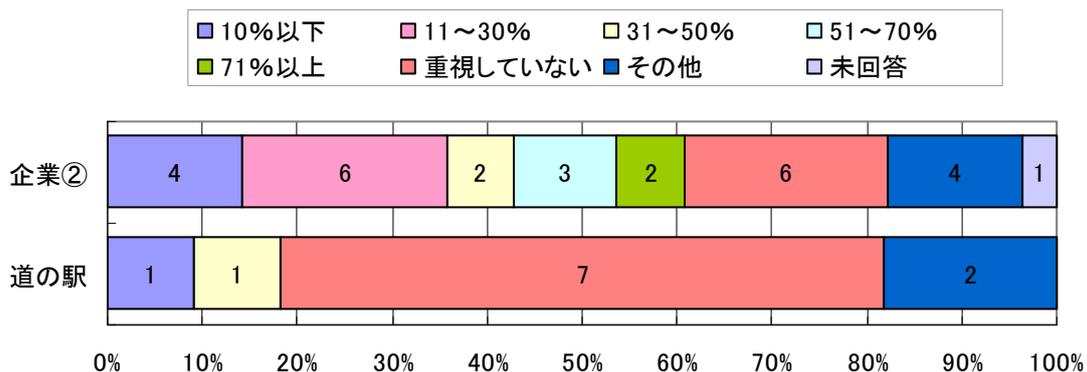


図 3.1.10 充電設備の整備検討条件① (EV 普及率)

《質問》月間でどの位の利用見込みがあれば、充電設備の整備を検討しますか？

- ・企業②では、約 1 割が「10 台以下」、約 2 割が「11～30 台」と回答している。
- ・企業②では、約 3 割が「重視していない」と回答している。
- ・道の駅では、約 6 割が「重視していない」と回答している。

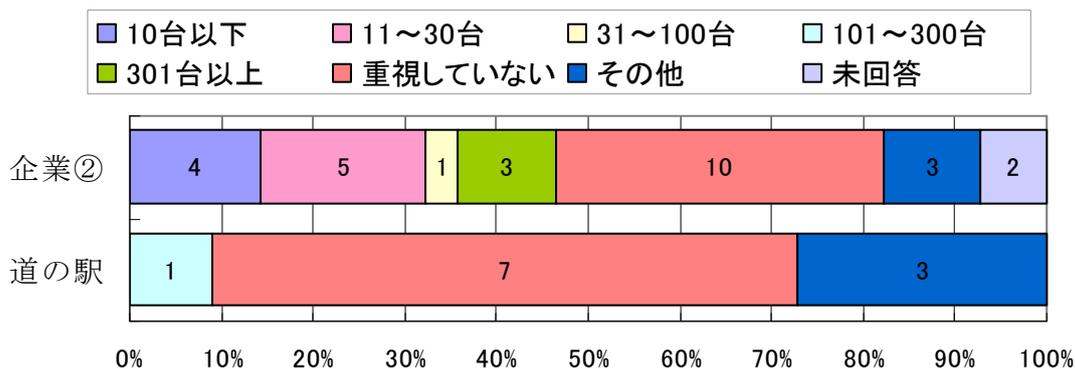


図 3.1.11 充電設備の整備検討条件② (充電設備の利用見込み)

《質問》充電設備の利用料のみで、月間どの位の利益が見込めれば、充電設備の整備を検討しますか？

- ・道の駅・企業②共に、EVの利用料による利益は重視しておらず、維持費を賄えれば良いと考えている傾向が強い。
- ・その他にて、「当面は維持費と設置費が回収できる程度」との回答があった。

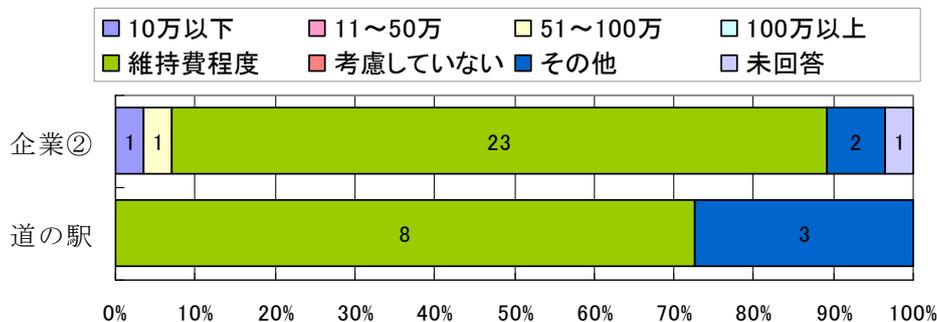


図 3.1.12 充電設備の整備検討条件③（充電設備利用による利益）

《質問》どのようなメリットがあれば、充電設備の整備を検討しますか？（複数回答）

- ・道の駅・企業共に、広告効果による集客や事務所等での売上げ向上のニーズが高い。
- ・企業②では、企業イメージの向上に関する意向も高い。
- ・道の駅・企業共に、EV 充電設備事業を新たなビジネスとして捉えている箇所は少ない。
- ・道の駅・企業共に、蓄電池型充電設備の整備による「電力のピーク需要カット」に関するニーズは低い。

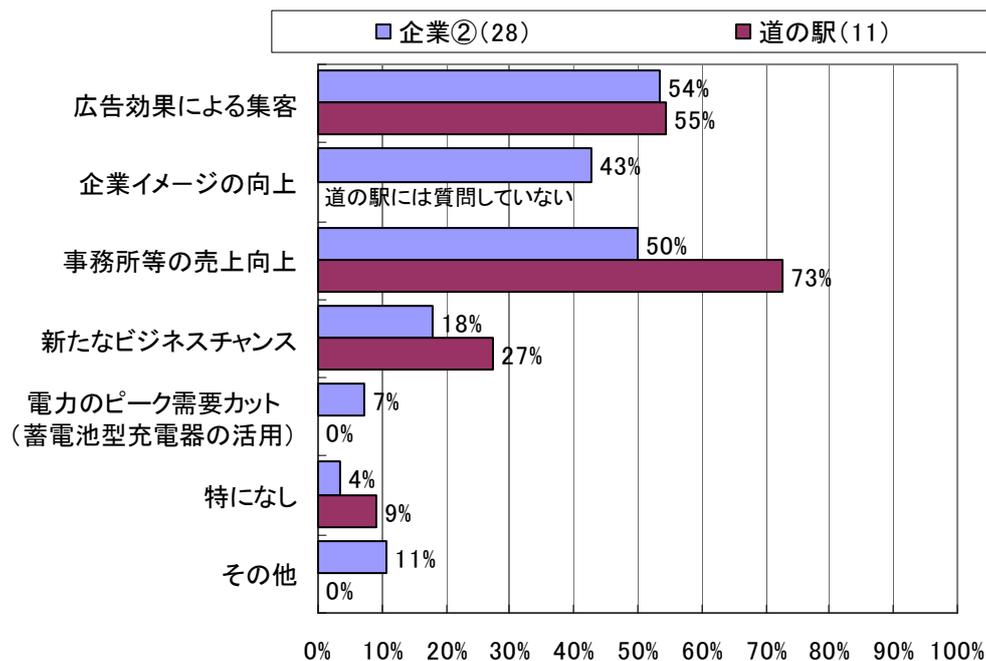


図 3.1.13 充電設備の整備検討条件④（充電設備の整備によるメリット）

《質問》充電設備の整備費用のうち、いくらかの補助金があれば、充電設備の整備を検討しようと思いませんか？

- ・企業②では、約 3 割が「全額」、約 4 割が「2/3 程度」と回答している。
- ・道の駅では、約 7 割が「全額」と回答している。
- ・整備費用の 1/2 以上の補助金を希望している企業②は約 8 割、道の駅は約 9 割であった。

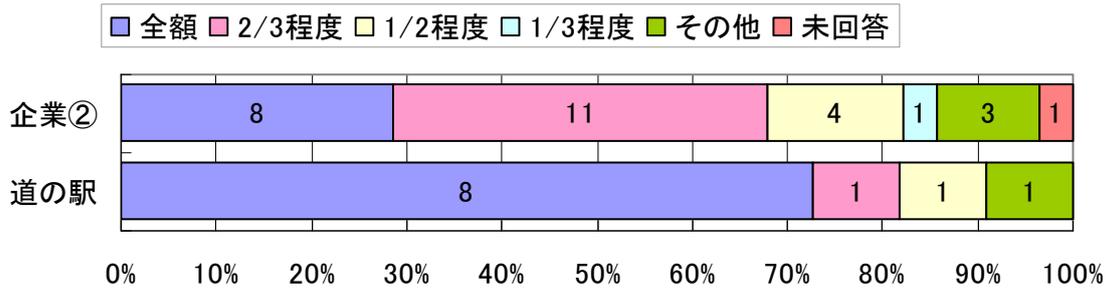


図 3.1.14 充電設備の整備検討条件⑤（充電設備の整備費用と補助金の割合）

## ②EV 用充電設備の利用システム

《質問》一般に開放するとした場合、どのような利用システムが良いとお考えですか？

- ・企業では、約 4 割が「事務所・窓口で受付」と回答している。
- ・道の駅では、約 3 割が「自由に利用」と回答している。

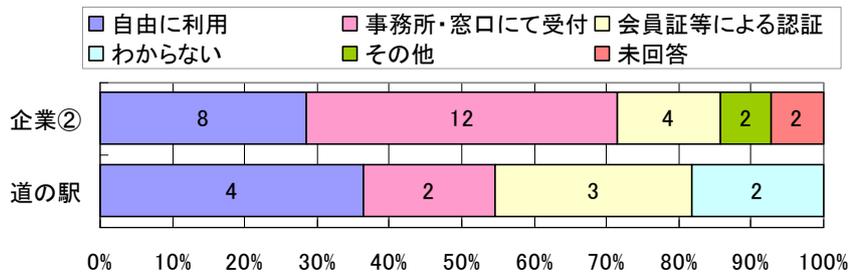
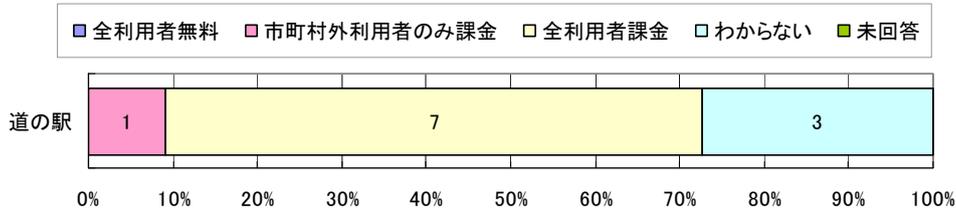


図 3.1.15 充電設備の利用システムの意向

《質問》充電設備の一般開放の際、どのような料金体系が良いとお考えですか？

- ・約 6 割が「全利用者に課金する」と回答している。
- ・「市区町村外の利用者のみ課金する」と回答したのは 1 箇所であった。
- ・利用料で維持費程度を賄おうとする意向が高いことから、「全利用者を無料とする」と回答した箇所は 0 箇所であった。



※道の駅のみに質問

図 3.1.16 充電設備の利用料金体系の意向

《質問》充電設備の一般開放の際、どのような課金制度が良いとお考えですか？

- ・企業では、約 6 割が「充電時間の長さ」と回答している。
- ・道の駅では、約 4 割が「充電時間の長さ」、約 3 割が「充電 1 回あたりの定額」と回答している。
- ・「無料で利用」と回答した企業は 1 箇所であった。

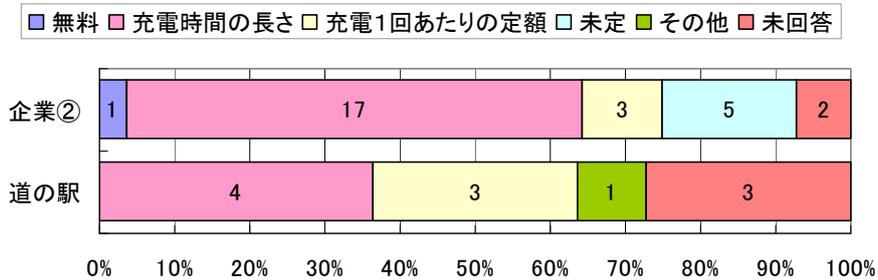


図 3.1.17 充電設備の利用料金体系の意向

### ③EV 用充電設備に関する情報提供

《質問》充電設備を整備するために、どのような情報が欲しいですか？（複数回答）

- ・企業②では、86%が「充電設備の整備コスト」と回答している。
- ・道の駅では、100%が「充電設備の整備コスト」と回答している。
- ・道の駅では、全ての項目で5割以上の回答を得ており、全体的に情報が不足していると想定される。
- ・企業②では道の駅と比べて、「実際の利用者数」や「利用システムに関する他事例」の回答が比較的少なかった。

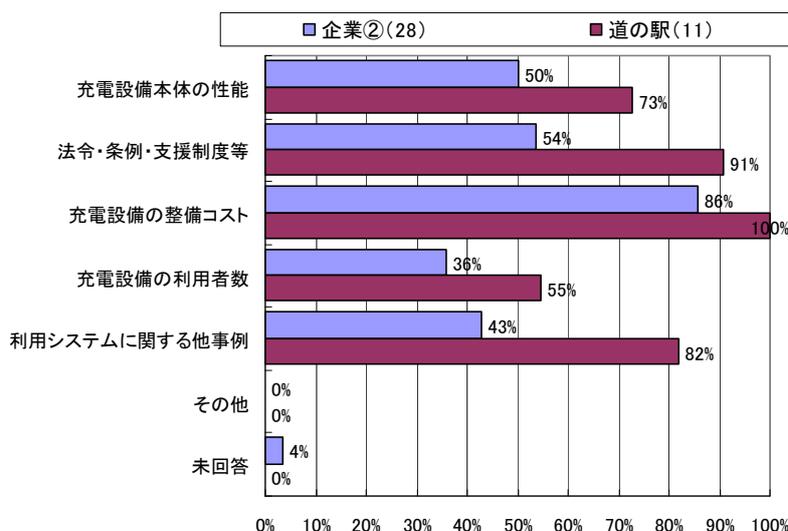


図 3.1.18 充電設備の整備を検討するために欲しい情報

《質問》貴事業所等（貴施設）において、利用者に充電設備を有効利用してもらう為に一般ユーザーにどのような情報を提供したらよいと思いますか？（複数回答）

- ・企業②では、89%が「整備箇所マップ（web）」と回答している。
- ・道の駅では、73%が「整備箇所マップ（web）」と回答している。
- ・道の駅での「その他」にて、「充電設備整備箇所をスタンプラリー帳へ掲載する」との回答があった。

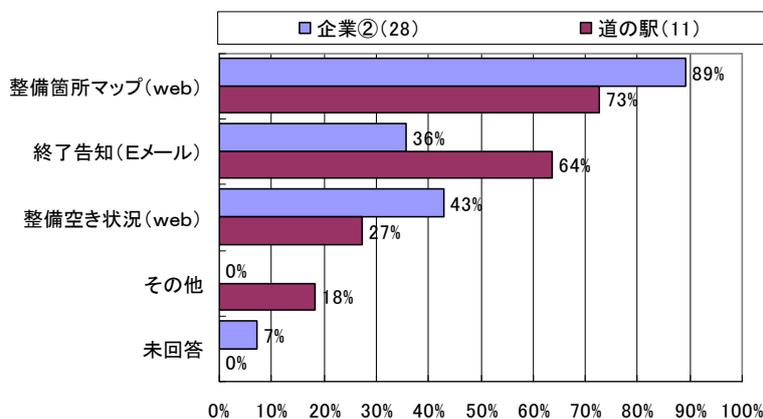


図 3.1.19 充電設備を有効利用してもらうための情報提供に関する意向

④既存コンセントの一般開放

《質問》既存コンセントの一般への常時開放は可能ですか？

- ・企業②では、約 2 割が「常時開放可能」と回答している。
- ・道の駅では、「常時開放可能」と回答した箇所は 0 箇所であった。

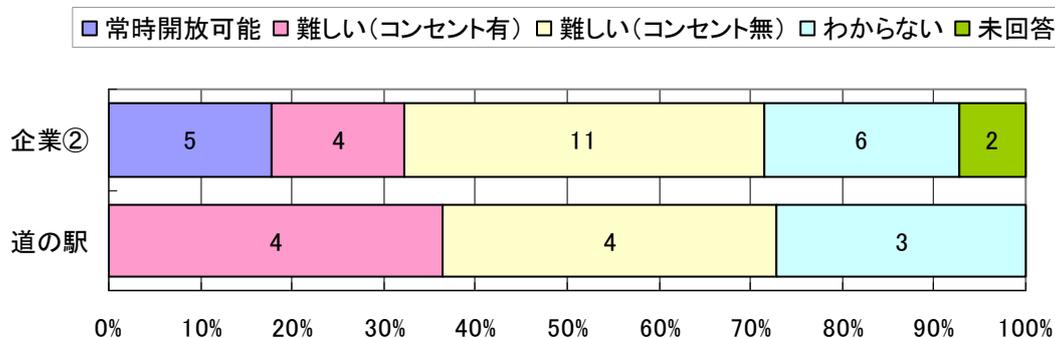


図 3.1.20 既存コンセントの常時一般開放に関する意向

《質問》既存コンセントを一般に開放する際の課金制度について、どのような課金制度が良いとお考えですか？

- ・企業②では、約 4 割が「わからない」、約 3 割が「充電時間の長さ」と回答している。
- ・道の駅では、約 5 割が「わからない」と回答している。
- ・「常時開放可能」と回答した企業では、「わからない」との回答や「課金する」と回答しているものの金額が未定という回答であった。

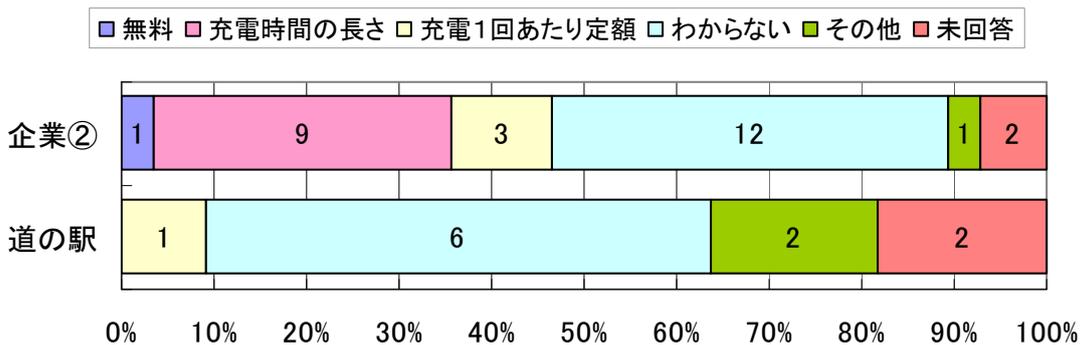


図 3.1.21 既存コンセントを一般開放する際の課金制度に関する意向

### (3) 充電インフラ整備前向き検討箇所アンケートでの自由回答まとめ

企業アンケート①の回答では、自由解答欄の記述がなかったため、企業アンケート②と道の駅アンケートでの自由回答について以下にまとめる。

表 3.1.7 自由回答のまとめ（企業アンケート②）

意見	件数
北海道、特に倶知安のような豪雪地帯では除雪の妨げにならない場所を選ぶ必要がある。屋根は必須だと思う。	1
リゾートホテルなのでレンタカーなど EV になると絶対的に充電器が必要になる。また、CO <sub>2</sub> 削減を行うことが必要と思う。	1
EV 普及について普段あまり関心がないことから、回答があてにならないかもしれません。特に駐車場は施設オーナーの所有なので相談も必要となります。	1
弊社は国道から近いものの、数 km のところに道の駅もあり公共施設やホテル等に設置されれば必要性が低いと考えられますので現時点では具体性はありません。	1

表 3.1.8 自由回答のまとめ（道の駅アンケート）

意見	件数
開放は考えていない	2

## 3.2. 先進事業者へのヒアリング調査

### (1) 調査目的

今後の充電インフラ普及モデルの参考として、充電インフラ設備において先進的な事業を実施している企業・団体の取り組み、戦略、今後の計画等の把握を目的に、北海道内で先進的に充電設備を整備している事業者へヒアリングを行う。

### (2) 調査方法：ヒアリングおよびヒアリング票への記入

### (3) 調査対象者：北海道内で先進的に充電設備を整備している事業者

### (4) 調査箇所数：3事業者

#### 3.2.1. ヒアリング調査内容

今後の充電インフラ普及モデルの参考のための整備実態や充電設備の利用状況と、先進的に整備している企業の戦略や今後の計画を把握する。

以下にヒアリングの項目をまとめる。

##### 《充電設備の整備実態》

- ・先進的に充電設備を整備した理由
- ・充電設備の整備にかかった費用
- ・充電設備を整備した際に苦労したこと
- ・充電設備の利用システム（料金、利用の仕方、開放可能時間など）
- ・充電待ち時間での付帯サービス
- ・充電設備を整備したことを周知するための方法
- ・充電設備の利用しやすさに関する工夫（充電待ち時間の表示など）

##### 《充電設備の利用実態》

- ・充電設備の利用者数
- ・充電設備をよく利用する人の属性
- ・ユーザーの声

##### 《戦略・今後の計画》

- ・どのような方をターゲットとしているか
- ・EV事業に関する戦略や今後の計画について

充電設備について、以下の質問にお答えください。

①	貴事業所等において、充電設備を整備した理由について教えてください。	(例：環境貢献活動の一環、EV普及のため、新しいビジネスのため、など)
②	貴事業所等において、充電設備を整備した際にかかった費用について教えてください。	(例：充電器本体の価格=200万円、設置費=100万円、キュービクル(変電設備)工事費=300万円など)
③	貴事業所等において、充電設備を整備した際に、苦労したことについて教えてください。	(例：予定よりも設置コストが高かった、電力会社との調整が大変だった。など)
④	貴事業所等におけるEV充電器の利用料金や利用体系(会員制、受付制、自由に利用)、1回の利用制限時間、充電器の開放可能時間、設置箇所について教えてください。	(例：無料、窓口にて受付し利用、時間制限なし、24時間開放可能、事務所前の駐車場に設置。など)
⑤	貴事業所等において、充電設備利用に伴う利用者への付帯サービスなどをお考えでしたら、教えてください。	(例：充電待時間を利用したカフェ、待ち時間点検サービス。など)
⑥	貴事業所等における、充電設備の利用者数について教えてください。	(例：一日1台、週に5台、月に30台。など)
⑦	貴事業所等において、充電設備をよく利用されている方の年代や性別、充電待ち時間での行動について教えてください。	(例：40代の男性が多い、待ち時間を利用してスーパーで買い物をしている。など)
⑧	貴事業所等において、充電設備をどのような方に利用してもらいたいですか。(ターゲットにしているユーザー)	(例：不特定多数、買い物客、宿泊者。など)

図 3.2.1 先進事業者へのヒアリング票

⑨	貴事業所等において、充電設備の利用者からの要望や意見がありましたら、教えてください。	(例：待ち時間が長い、利用方法がわかりにくい。など)
⑩	貴事業所等において、充電設備を整備したことを周知するために工夫していることがありましたら教えてください。	(例：チラシの配布、広告ポスターの掲示。など)
⑪	貴事業所等において、より多くの人に充電設備を利用してもらうために工夫していることがありましたら、教えてください。	(例：事務所内での充電待ち時間の表示、待ち時間での車両の整備・点検。など)
⑫	貴事業所等における、EV 事業に関する戦略や今後の計画について教えてください。	(例：現在は無料だが、今後 EV が普及すれば課金する。今後、支店・系列店にも充電器を設置する。今後、限定した地域を対象に集中的に充電器を設置する。など)
⑬	貴事業所等において、環境貢献のため、どのような工夫や努力を行っていますか。	(例：EV 充電器設置のほか、クールビズの導入、再生紙等の環境負荷の少ない商品を積極的に使用している。将来的に、社有車を EV や PHEV にしたいと考えている。など)

その他、EV 普及や充電設備についてご意見・ご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様からいただきました貴重なご意見は、今後の充電インフラ普及施策に活用させていただきます。

図 3.2.2 先進事業者へのヒアリング票

### 3.2.2. ヒアリング調査結果

先進事業者へのヒアリング調査を実施した結果を以下にまとめる。

表 3.2.1 先進事業者ヒアリング調査結果①（充電設備の整備について）

先進的に充電設備を整備した理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境貢献活動のほか、近郊に自動車試験場があり、EV 充電設備の整備に関する要請があったなど、立地による整備理由が挙げられた</li> </ul>
整備にかかった費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通充電器の整備は 1 基 50 万程度であり、設置箇所により設置費用が異なっている</li> <li>急速充電器の整備は 500 万円程度であり、電気工事の費用は総費用の 2 割程度であった</li> </ul>
充電設備の整備で苦労したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力会社との調整や、店舗との電力の区分け</li> <li>整備コストが想定より高かった</li> </ul>
利用システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用料金は無料、窓口にて受付の箇所が多かった</li> <li>利用可能時間は、設置箇所の本サービスを提供している時間帯が多かった</li> </ul>
付帯サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>
周知する方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞、TV 等で取り上げられた</li> <li>通常は特に PR していない</li> </ul>
利用しやすさに関する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>

表 3.2.2 先進事業者ヒアリング調査結果②（充電設備の利用実態）

利用者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般の利用者を対象としているため、現在はまだ少ない</li> </ul>
利用者の属性や待ち時間での行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性が多い</li> <li>待ち時間中は、設置箇所の本サービスの提供を受けていることが多い</li> </ul>
ユーザーの声	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用方法の説明文を貼ってもらいたい、といった声はあったが、「使いづらい」や、「時間が長い」といった話はない</li> </ul>

表 3.2.3 先進事業者ヒアリング調査結果③（戦略・今後の計画）

ターゲットにしているユーザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>充電設備を呼び水として本サービスの業績につなげるため、新規の客をターゲットにしている</li> </ul>
戦略・今後の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は無料だが、将来的には課金したい</li> </ul>

### 3.3. EVの充電インフラ設置箇所への調査まとめ

前向き検討箇所アンケート調査の結果を、以下にまとめる。

表 3.3.1 前向き検討箇所アンケートのまとめ

充電設備の整備前向き検討箇所が持つ課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備コストに関する情報が不足している</li> </ul>
充電設備の整備を検討するための条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充電設備利用料によるビジネスや利益については、企業・道の駅共に考えられていない</li> <li>・充電設備の整備検討条件としても、維持費を捻出できる程度で良いとの意見が多い</li> <li>・充電設備整備のメリットとしては、事業所等の売上げ向上や集客効果、一般企業ではそれに加えて企業イメージの向上があれば、充電設備の整備を検討すると回答している</li> <li>・充電設備の整備コストに対する補助金率としては、整備費用の1/2以上の補助金を希望している企業が約8割、道の駅が約9割に上る</li> </ul>
既存コンセントの常時一般開放について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開放可能と回答した箇所は少ない</li> <li>・開放可能と回答した箇所においても、課金方法や利用料金が定まっておらず、早期の一般開放は難しい</li> </ul>

本アンケートより、整備コストに関する情報の提供を希望する企業・団体が多く、整備コストに関する情報が不足している現状がある。また、充電設備の利用料による利益が期待できない現状としては、整備コストの負担が大きな壁になっていると考えられる。

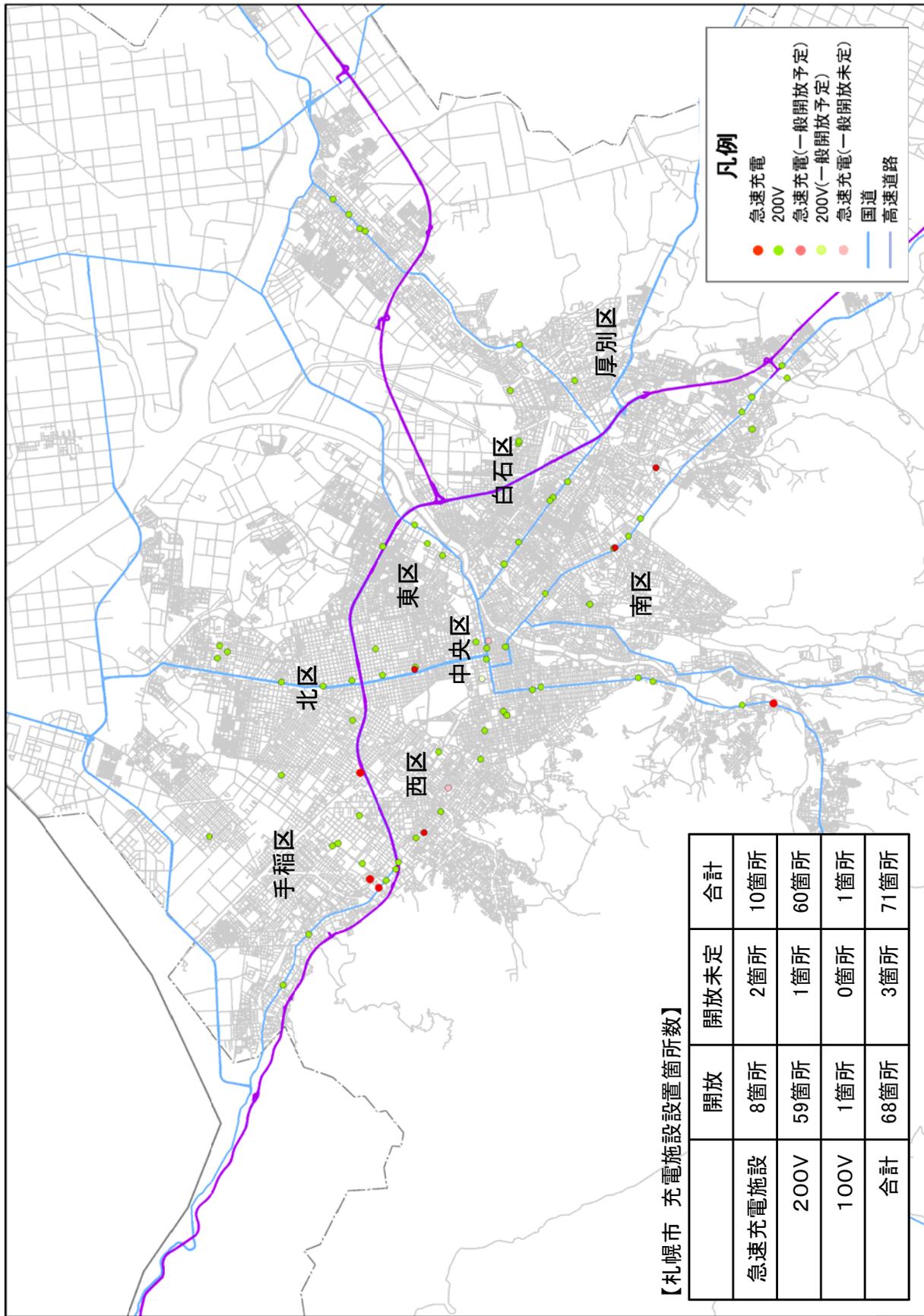
また、電力のピーク需要カットに関するニーズが低い傾向が出ているが、これは蓄電池利用による電力のピーク需要カットが比較的新しい技術であり、その機能や役割について十分な認知・理解がされていないことによるものと想定される。

充電設備を整備するための条件としては、充電設備の維持費程度の収入が挙げられているが、現状において、充電設備の維持費がどの程度かかるかの不明であり、どのような利用システムで、どのくらいの利用料を設定し、どのくらいの稼働率であれば維持費の捻出が可能なのかが不明である。

充電設備の普及状況としては、北海道内に184箇所の充電器（急速、200V、100V）があり、うち180箇所が一般開放されている（次ページ参照）。また、その内68箇所が札幌市内であり、その他は道内のカーディーラーに点在している状況である。充電設備の配置として、現在は空白地帯が存在してしまっているため、充電設備の空白地帯への積極導入などの「充電設備の適正配置」も課題として挙げられる。

また、滞在型の観光地においては、中速型の充電設備を整備し、充電時間を利用して観光地を周遊してもらうなど、設置箇所の特性に応じた充電設備の種類に関するインフォメーションを行うことが必要と考えられる。





※平成23年10月24日現在